

議会だより チェック・アンド・バランス おがわ



次年度につながる決算を認定

町民の声を町政に 10 人が一般質問 P.8

No. **73**
2014.11.1

大河小学校運動会

評価

収納率が向上

滞納額（税金を納めない）が 5038 万円減りました

努力が認められた点

- 収納対策室を強化（専門の徴収員を採用）
- コンビニ収納開始（利便性を確保）
- 納税コールセンター設置（滞納とならないように早期納付を促す）
- 納税相談を数多く実施

評価



評価



各種がん検診の
受診率が増加



特定健診の
受診率が増加

27.74%から34.4%

評価



住宅用太陽光
発電設置補助事業
当初予算の 143%増

評価



平成 25 年度決算は、歳入 98 億 9539 万円と、過去 5 年間で最大の歳入総額でした。歳出は 94 億 6934 万円で、前年度と比べ 4800 万円の減となりました。

平成 25 年度 一般会計歳出総額 94 億 6934 万円

執行率
87.0%

次年度につながる

決算を認定

課題

不用額の多さ（予算が執行されなかったお金）

2 億 1996 万円

課題



十分に活用されなかった事業の一部

周知徹底を！

課題



家具転倒防止器具
設置補助事業

当初予算 100 万円

実績は 11 万 5000 円

課題



木材推進住宅
リフォーム助成事業
（補正予算）

利用件数はゼロ

課題



病児病後児保育事業

ファミリーサポート
センターに委託

利用件数はゼロ

平成 26 年度へ事業が継続

予算は単年度で執行するのが原則です。平成 25 年度で使われるはずだった事業費合計 11 億 9539 万円が、次年度に繰り越されました。

事故繰越 6 億 1495 万円 台風や雪などの天候不良のため
西中学校改築事業・野竹川の河川改修事業・電気自動車用充電スタンド設置事業など

繰越明許 5 億 8044 万円 予算化されるも執行できる期間がなく
次年度へ繰り越し

消防団詰所改築事業・小中学校エアコン設備設置事業・道路や橋りょうの点検事業・道路改良事業（町道 222 号線）など

今定例会は、平成 25 年度一般会計ほか各会計決算の認定を中心に、平成 26 年度一般会計及び特別会計補正予算・条例の改正・人事案件など 27 件、請願 2 件の審議を行ないました。請願 1 件を除き全て可決・認定・同意しました。なお一般質問には 10 人の議員が登壇し、当面する諸問題について町の見解や対応をただし、政策提言を行ないました。

平成25年度 一般会計 決算

総質疑数235件（本会議118件、委員会117件）

《主な質疑》

「花いっぱい運動」の花の優先購入先は

問 障がい者団体等から、優先的に花を購入する考えは。

答 品質と数量の確保が難しいときもありますが、行政区に説明をし、優先的に購入するようにしていきたいです。

病児病後児保育の実績は

問 子育てに関してのニーズ調査などでは、施設・病院での預かりを望む声が多いが。

答 病児病後児保育としての利用者はありません。人の配置や施設のスペース的な問題もあり、難しいです。

子宮頸がんワクチンの接種率は

問 子宮頸がんについて積極的勧奨は行なっていないと思うが、接種率はどうか。当町において、健康被害は出ていないか。

答 対象者は228人ですが、実際に受けた方は25人です。個別通知は行なっていない。副反応の報告は出ていません。

有害鳥獣駆除

問 現状と今後の計画は。

答 アライグマ・ハクビシンは、ほぼ横ばいです。猪や鹿の捕獲量の増加が続くため、今後も計画的に進めます。

中学校社会体験チャレンジ事業

問 平成24年までの保険料がなくなっているが。

答 学校生活に対応した保険で対応可能のため、削減しました。

パトリアおがわ

問 利用者が減っているが。

答 高齢化が進む中、ライフスタイルの多様化もあり減っています。スペース等の調整をし、健康器具導入も踏まえて、運営懇話会等で検討していきたいと思っています。

学校給食センター

問 建物の老朽化が進んでいるが。

答 規模からすると改築に相当な金額が必要です。アセットマネジメントを含めて、総合的に判断をして進めていきたいと思っています。

旧上野台中学校の活用は

問 平成25年度の利用実績は。

答 体育館を利用している3団体（バレーボール1団体・バスケットボール2団体）では、延べ177回の利用がありました。また、学校管理下の事業として、東中学校の部

活動利用（バレー・剣道・サッカー・野球・ソフトテニス各部）では、平日の放課後・土日祝日の利用がありました。あわせて、行政の主催事業や地元自治会の行事等では、グラウンドや駐車場の使用がありました。

予備費の流用

問 55%程度が流用されているが理由は。

答 大雪による除雪費用、行旅死亡人の捜査費等、緊急やむを得ない場合の支出でした。

2月の雪

問 想定外の降雪だったが、除雪費用は。

答 1068万9278円でした。



大雪となった2月14日からの降雪

平成25年度 特別会計 決算

《主な質疑》

国民健康保険

問 特定健診受診率が向上したが、どのような工夫をしたのか。

答 啓発のチラシを商店街に協力していただき掲示をしたり、町もイベントに参加して啓発しました。また、未受診者に対して受診勧奨はがきを送付した効果が大きいと思っています。

問 人間ドックの申し込みが、すぐにいっぱいになってしまふ。定員を増やしては。

答 補助額を下げて、定員を増やすなどの検討をしてもよいかと考えます。

介護保険

問 閉じこもり予防事業の内容は。

答 社会福祉協議会に委託し



はつらつクラブで交流を（高校生がボランティアで参加）

た、はつらつクラブで、体操やレクリエーション・健康づくり・交流を行なっています。小川2カ所・大河・竹沢・八和田・みどりが丘・東小川の7カ所で実施しました。

《主な質疑》

町立保育園の遊具を更新

問 詳細は。

答 現存の遊具は、八和田保

平成26年度 一般会計 補正予算

学童保育の開所時間の延長

問 補助の詳細と延長にかかる利用料の負担は。

答 補助対象は、18時30分を超えて事業を行なう場合で、延長分の賃金の増加に必要な経費を補うものです。また、開所時間中の賃金改善分として、学童クラブで従事したガイド・指導員・職員の処遇改善の一端を担うものと考えます。後段については、各学童クラブにおいて延長分の利用料に差異があるので、協議し対応していきます。

予防接種事業

問 水痘（水ぼうそう）ワクチンの定期接種と、経過措置の考え方は。

答 対象は1歳から3歳までとなります。経過措置として、今年度に限り3歳から5歳の未接種者に対して1回行ないます。水痘患者の多くが5歳未満の幼児であること、及び1回の接種で重症水痘は大部分が予防できることを踏まえ、国の接種方法に基づいて実施します。

栃本堰の警報装置

問 設置の理由は。

答 現在、緊急時に堰を稼働する際は、3名以上の職員で対応しています。その人員の負担軽減と、放送装置・警報ランプの設置を図り、できる限り流域での水害を防ぐためです。

条例の制定・改正 その他

《主な質疑》

一般職の任期付職員の採用等に関する**条例制定**

問 どのような選考で、どこへ登用を考えているのか。

答 競争または選考で選ぶことになります。

問 税務課の収納対策室の設置において、条例があれば3年任期で対応ができたと考えています。また専門性の高いプロジェクトにも対応できます。

重度心身障害者医療費支給に関する条例の一部を改正する条例制定

問 条例改正による精神障がい者の対象人数は。

答 40名程度です。

問 65歳以上の新たな対象者を除外するのは、なぜか。

答 県の補助要綱の中で、対象者の増加が見込まれるためです。

西中学校解体工事
(旧管理棟・体育館)

問 生徒の登下校時の安全面に配慮を。

答 フェンスで囲み、ガードマンを配置します。

問 近隣への騒音の配慮は。

答 防音壁を使うことと、振動の少ない解体方法を取ります。

問 体育館の跡地利用は。

答 当面は、駐車場として使います。

細川紙を含めた和紙資料購入

問 保管方法と活用方法の計画は。

答 目録に基づき保管を進めます。また、貴重な資料として、展示を含めた活用方法を考えていきます。

子ども子育て支援法が成立し、その規定に基づき、各施設の設備や運営基準を定める条例が制定されました。

認定こども園・幼稚園・保育所・地域型保育施設

問 町の責任は。

答 施設が給付を受けるために、必要とされる基準を満たしていることを確認することです。

問 町立保育園は、国の基準より手厚くなっているが、維持されるのか。

答 障がい児や手のかかる子など、現在も基準以上になっています。今後もそうように考えていきます。

家庭的保育施設

問 食事の提供は委託でも可能とのことだが、0〜2歳児の保育では、各施設で自前とするべきでは。

答 自前でつくってもらいたいとは思いますが、国の基準に従います。

学童保育施設

問 県の基準は先駆的だが、

当町の状況は。

答 県の基準をテキストとして各学童に配布しており、ほぼ同様の基準となっています。

問 利用料が各学童でまちまちだが。

答 6000円〜1万1000円までさまざまですが、地域性や、やり方の違いがあります。統一したいのですが、難しい問題です。

保育の必要性の認定に関する基準

問 午前中だけのパートでも受け入れられるか。

答 現在も月に64時間労働でも対応しています。

問 兄弟で別の保育園となると負担が大きいが。

答 ゼロ歳児保育のスペースがとれない施設もあり、ご苦労をお願いしていることもあります。



新しい体育館の前で

「手話言語法（仮称）」の制定を求める意見書

「手話言語法制定を求める意見書」の提出を求める議員

請願者

小川町大字大塚901番地

小川町聴覚障害者協会

会長 長島 義一

請願結果

厚生文教常任委員会に付託され、委員長報告は「採択」でした。

本会議での審査も、「採択」となりました。

議員提出議案

「手話言語法（仮称）」の制定を求める意見書

議員全員賛成で議決し、内閣総理大臣をはじめ関係大臣に提出しました。

.....

「特定秘密保護法の撤廃を求める意見書」の提出を求める議員

請願者

小川町大字飯田423番地1
笠原 恵子 ほか633名

請願結果

総務常任委員会に付託され、委員長報告は「不採択」でした。

本会議での審査も、「不採択」となりました。

審議議案と議員の賛否

議 案 名	議員名	審議結果
一般職の任期付職員の採用等に関する条例制定	小林 一雄	可決
特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例制定	戸口 勝	可決
家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例制定	大塚 司朗	可決
放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例制定	宮澤 幹雄	可決
保育の必要性の認定に関する基準を定める条例制定	根岸 成美	可決
地域福祉推進委員会条例制定	大戸 久一	可決
重度心身障害者医療費支給に関する条例の一部を改正する条例制定	松葉 幸雄	可決
平成 26 年度一般会計補正予算（第 3 号）	金子 美登	可決
平成 26 年度国民健康保険特別会計（事業勘定）補正予算（第 1 号）	松本 修三	可決
平成 26 年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第 1 号）	高橋 さゆり	可決
平成 26 年度介護保険特別会計（保険事業勘定）補正予算（第 1 号）	山口 勝士	可決
平成 26 年度下水道事業特別会計補正予算（第 1 号）	柴崎 勝	可決
平成 26 年度農業集落排水事業特別会計補正予算（第 1 号）	島崎 隆夫	可決
平成 25 年度一般会計歳入歳出決算の認定	高瀬 勉	認定
平成 25 年度国民健康保険特別会計（事業勘定）歳入歳出決算の認定	井口 亮一	認定
平成 25 年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定	柳田 多恵子	認定
平成 25 年度介護保険特別会計（保険事業勘定）歳入歳出決算の認定		認定
平成 25 年度下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定		認定
平成 25 年度農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定		認定
平成 25 年度水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定		認定
庁舎エコオフィス化改修工事請負契約の締結		可決
町立西中学校改築工事（二期解体工事）請負契約の締結		可決
物品購入契約の締結		可決
教育委員会委員の任命		同意
監査委員の選任		同意
学童クラブ条例の一部を改正する条例制定		可決
議員提出議案		
手話言語法（仮称）の制定を求める意見書の提出		可決
請願審査結果		
「手話言語法制定を求める意見書」の提出を求める請願		採択
「特定秘密保護法の撤廃を求める意見書」の提出を求める請願		不採択

※（○）は賛成、× は反対）議長は賛否同数の場合のみ採決に参加します

ごみ・し尿処理・消防・救急・斎場等の議会報告

◎比企広域市町村圏組合

(消防・救急業務、斎場の管理運営、介護・障害審査会)

平成26年第2回比企広域市町村圏組合議会定例会が、平成26年8月25日(月)に東松山市議場で開催されました。専決処分1件・人事案件1件・条例の制定3件・補正予算4件・決算の認定4件・請負契約の締結(滑川分署庁舎新築工事)1件と財産の取得として、東松山消防団第2分団に水槽つき消防ポンプ自動車1台、比企広域消防本部に地震体験車1台を購入する議案が提出され、全て可決されました。

◎小川地区衛生組合

(ごみ処理、し尿処理)

平成26年8月26日(火)に、第2回定例議会が開かれました。

議案は、平成26年度の補正予算1件と、平成25年度小川地区衛生組合一般会計歳入歳出決算の認定についてで、審議の結果全て可決されました。

平成25年度決算の歳入総額は13億1234万円、歳出総額は11億9491万円で、差引額の1億1743万円が平成26年度に繰り越されました。

今後は、し尿処理施設の延命化計画の実施や、可燃物・不燃物両処理にかかる機器などの補修が予測されるため、より一層の経費削減をしなければならないと考えます。

町民とともに歩む町だから、耳を傾けて！



戸口 勝 議員

町民の声を町政に

一般質問席

町政をただす

一般質問とは、議員が役場の仕事について、町長の考えや意見を求め、事柄をただしたり、議員や町民の意見などを述べることをいいます。議員1人の持ち時間は75分に定めており、議会日よりでは、このやりとりを要約して報告しています。

今議会では、10人の議員が一般質問を行ないました。

町づくり

納税者の立場に立った、行政運営を

町民の声を反映していきます

質問

「七夕まつりの竹飾りが少なくなった」と町民は感じている。1000万円の税金が投入される実行委員会であり、官と民で構成される実行委員会であり、上げていくには、しっかりと民の考えに耳を傾けてもらいたい。

答弁

産業観光課長 秋口に行なわれる実行委員会にて、しっかりと反省を聞き、その内容に沿った祭りにすべく話し合いをしていきます。

建設事業の町のあり方は

質問

西中改築が終った今「天候の影響があれば、工期を延ばしても大丈夫」と談笑する業者がいることに、憤りを感じている。今後の町の姿勢と第三者機関への強度検査の依頼は。

答弁

副町長・学校教育課長 今後は、専門的立場の意見を聞きたいと思っています。また、瑕疵担保については十分注意深く見ますが、今回の工事は監理監督会社の記録の積み重ねを信頼

しています。

新ごみ処理場の行方

質問

建設予定地が吉見町に決定したが、収集運搬にかかる金額は。また周辺施設として32億5000万円が予定されているが、0円からの積み上げ方式での分担割にすべきでは。

答弁

環境保全課長 平成26年度の2・2倍を想定しています。また分担金については、ご指摘の方向で進めたいとの考えがありますが、時間がかかると思います。

国を挙げて母親の就労を支える政策が始まっている！



山口勝士 議員

子育て支援

働く親を支える「放課後児童クラブ」の充実を

「子ども子育て支援事業計画」の内容を検討

質問

市町村事業と位置づけられた放課後児童クラブ(学童保育)の充実は。子育て支援課

答弁

長 開所時間の延長に伴う指導者の賃金への補助について、補正予算を計上しました。負担割合は国・



県・町が3分の1です。子ども子育て会議で、ニーズ調査の結果に基づく「子ども子育て支援事業計画」の内容を検討していきます。利用希望状況などを勘案しながら、3月末には策定が終了する予定です。充実した内容になるよう、議会に報告したいと思っています。

介護保険の新しい3年間のスタートに向け

質問

要支援の方への混乱が心配されるが。

答弁

福祉介護課長 新事業への移行に向け、サービス提供事業所を含め、要支援者にはいつから新事業を開始するのか。また、用意される総合事業は、要支援の状態を軽減、または悪化を防

止し、高齢者の尊厳と自立支援につなげるものであることを理解していただけるよう説明していきます。

細川紙ユネスコ文化遺産登録の今後の取り組みは

質問

直前まで迫ってきたが、これからの取り組みは。

答弁

産業観光課長 登録決定後は、広報による報告や駅前広場懸垂幕の設置、歩道橋に「日本の手漉き和紙 祝細川紙 ユネスコ無形文化遺産登録 小川町」の横断幕を設置。また、有識者講演会や貴重な和紙資料の展示等のイベントを考えています。着実に小川和紙のよき、細川紙を知っていただく事業を行ない、多くのサポーターを増やしていきたいと考えています。



第66回七夕まつり

住民サービスの向上

庁舎内に総合案内を

町民が入りやすいような改善を検討



高橋さゆり 議員

もっとふんわりとした考え方ができないのかなあ

質問 庁舎1階に総合案内の担当者を配置できないものか。

答弁 総務課長 当町では、町民生活課の生活あんしん室に庁舎案内の窓口を設置しています。主に臨時職員ではあります。が、毎日午前9時から午後5時までの間は、担当者として職務に当たっています。

質問 町長はインターネットで、「職員に、やる気の対応・接客意識の向上を望みます」とおっしゃっていましたが、総合案内は今のままでよいというところか。

答弁 町長 玄関を入って左側にある生活あんしん室を、総合案内とするには、



現在の庁舎案内

改善の余地があると思っています。もう少し前面に出てもよいのではないかと考えています。当町全体として、各課と相談しながら検討していきます。

質問 当町で婚姻届を提出されたカップルに写真撮影を行ない、結婚のお祝いメッセージを和紙にしたためた台紙に入れ、

答弁 町民生活課長 新たなサービスをこなうことについて、本来行なっている行政サービスの業務に影響するようでは、本末転倒です。これから、受付の際には「おめでとうございます」「お幸せに」など一声を添えて、お祝いの気持ちを伝えるしていきます。

その他の質問

◎消費者教育について
◎企業立地の支援体制について

交通網整備

地域公共交通計画の作成予定は作成の方向で進めています

国はデマンド交通推進！当町は？

質問 人口減少・少子高齢化が加

速度的に進展することにより、地方において公共交通ネットワークの縮小やサービス低下が心配されている。それに伴い、地域の総合行政を担う自治体が先頭に立って進める「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」の一部が改正されたが、具体的には、

答弁 政策推進課長 交通政策基本法にのっとり、地方公共団体が中心になって、まちづくりに連携し、公共交通ネット



井口亮一 議員

高齢者の移動支援に向けて一歩踏み出そう

移動困難者への支援

交通空白地域の高齢者への移動支援を地域公共交通ネットワークを検討する中で取り組む



柴崎 勝 議員

質問 以前質問させていただいた高齢者の移動支援について、「交通機関を利用できる環境にありながら利用しない、でき

ない方々をどのように支援していくべきか、公共交通機関・企業・商店会などと連携を図り、あらゆる角度から研究していく」と答弁をいただいた。その後



生活あんしん室

の取り組みについて、進んでいるか。また、移動困難者の移動手段の確保について、町の考

質問 近隣市町村の状況では、交通空白地域の高齢者の皆さんにデマンドタクシーやタクシー券の配付など、何らかの支援を行なっているが、当町はいまだ調査研究のみである。以前配付していたタクシー券を復活して、一歩踏み出す

質問 国は、交通政策基本計画

答弁 政策推進課長 交通政策に関する法改正等に伴う情報を注視しながら、取り組んでいきたいと思っています。

その他の質問 ◎町内小規模事業者への支援政策について



ときがわ町のデマンドバス

答弁 政策推進課長 具体的な取り組みは進んでいませんが、今後、当町の高齢

答弁 町長 実現に向けて検討していきます。

健康長寿

朝のラジオ体操推進を

健康増進計画の中で検討



大戸久一 議員

とにかく来て体験してみて、気持ちいいよー

質問 体力向上と健康の保持や増進を目的としたラジオ体操は、その時間帯・場所・人数等を問わず、費用がかからずに血圧や血糖値の低下と、医療費削減効果が大きい。認知症予防・コミュニティ推進、地域活性化



下小川の朝のラジオ体操風景

化にも寄与している。下小川地区で現在も行なっている「朝のラジオ体操」の参加者アンケートでも、30人中25人が、ずっと続けてほしいと回答している。日本一ラジオ体操の盛んな町を目指し、熱意を持って、全町で推進するべきでは。

答弁 健康増進課長 現在策定中の健康増進計画の中で、各地域の実情に合わせて実施できる方向で、調整していきます。

防災訓練・土砂災害

質問 ここ数年、全国の至るところで想定外の災害が発生。今年2月の大雪も想定外だったが、これから起こり得る地

震・崖崩れ・土砂災害・台風等による風水害など、どんな災害が発生するか想定できない。しかし、あらゆる災害時に起こり得る問題点が、防災訓練を繰り返して行なうことにより、指揮系統・組織の対応等が認識され、想定外のことが想定内になる。当町においても、あらゆる災害を想定した防災訓練を、年1回は行なうべきでは。

答弁 総務課長 町主体の防災訓練もできるだけ行なっていくますが、これからは、自主防災組織による地域主体の防災訓練を中心に行なっていくと考えています。

その他の質問

◎ICワーク事業

今だからこそ、しっかり力を入れて！

平和事業

「非核平和都市宣言」看板の再建を 関係各課と協議します



柳田多恵子 議員

質問 町が行なっている平和事業、特に広島平和式典への中学生派遣事業のさらなる充実・拡大と、それぞれの中学校・中学生全体で共有する試みは。夏休みの1日を平和について考える日として課題を出すなど、平和学習は。

答弁 学校教育課長 他 拡大とまではいきませんが、今後も人数を減らすことなく実施していきたい



庁舎前にあった看板

と考えます。文化祭の際に、全校生徒の前で広島での体験を発表する機会を設けているところもあります。また、社会科教育の中で平和学習は行なっています。

質問 庁舎前にあった「非核平和都市宣言の町」の木製看板が撤去されている。再建を。

答弁 総務課長 土 台が腐食し危険なため、昨年11月に取り除きました。「非

核平和都市宣言の町」だけでなく、他の宣言もともに掲示してありましたので、ホームページでの掲載なども含めて関係各課と協議したいと考えます。

質問 頻発する米軍機の騒音・低空飛行への苦情は。他地域では部品落下事故なども起きている。苦情を上げること、事前に飛行計画の通知を求めることも可能だと思

答弁 総務課長 米軍機は、日米地位協定によって日本の航空法の適用外となっています。苦情・問い合わせが過去に3件ありましたが、事情を説明しました。事前通知については調査します。頻発に起きるようであれば、苦情として上（国・県）に上げていくことは検討しなければならぬと考え

雪ニモ 夏ノ暑サニモマケヌ...



高瀬 勉 議員

まちおこし

「もっと暑いぞ!! 小川町」暑さを売りにしたまちおこしは 熊谷市との違いを訴えることに難を感じます

質問 地域気象観測所（アメダス）を誘致できないか。

答弁 総務課長 アメダスの増設について気象庁に問い合わせたところ、「アメダスは、気象状況を時間的・地域的に細かく監視し、気象災害の防止と軽減を目的として全国に整備しています。気温については、おおむね20キロメートル間隔で観測網を整備して、現状で新たな地点に観測所を設ける計画はありません」とのことでした。

質問 暑さをPRしている自治体は、同時に熱中症対策にも力を入れている。当町の取り組みは。

答弁 健康増進課長 天気予報・熱中症指数等を確認し、危険を有する場合には、防災無線や防災メールの機能を活用して注意喚起を行なっています。また、健康長寿サポーターの皆様

質問 盆地の持つ特徴を生かした新たな特産品の開発や、関連企業の誘致は。

答弁 産業観光課長 特産品に関する企業誘致は行なっていないませんが、現在町では、地元産の有機栽培米や麦を使用した地酒・地ビールが発売されています。また、町内産のブドウを利用したワインも委託製造されており、6次産業化の相談等に



涼を求めて

町づくり

住みやすい町、誇れる町を目指すためには

次期総合振興計画の中で考えていきます

和紙の町、万葉の町、心のふるさとと呼べる町へ



島崎隆夫 議員

仙覚万葉まつりについて

質問 このまつりを生かしたイメージキャラクターを考えて、盛り上げては

答弁 政策推進課長 慎重に考えていきます。

質問 一句読むことは心を落ちつかせる。また、他人の読んだ句を読み解くことは、思いやりの心を

答弁 政策推進課長 情報収集して考えていきます。

質問 まつりにて短歌コンクールを開催しては

答弁 政策推進課長 準備会で協議します。

質問 万葉研究者を招き、シンポジウムやフォーラムを開催してはいいかがか。

答弁 政策推進課長 情報収集して考えていきます。

質問 環境保全課長 方法を考えていきます。

質問 水資源を生かす、特徴ある施策を考えていってほしいが。

答弁 環境保全課長 環境基本計画を十分検証し、次期計画で考えていきます。



仙覚万葉のまち

農業支援

多面的機能支払の法制化に向けて、町は農業の本格的支援を
財政当局と調整していきたい

日本型直接支払制度が始まります



金子美登 議員

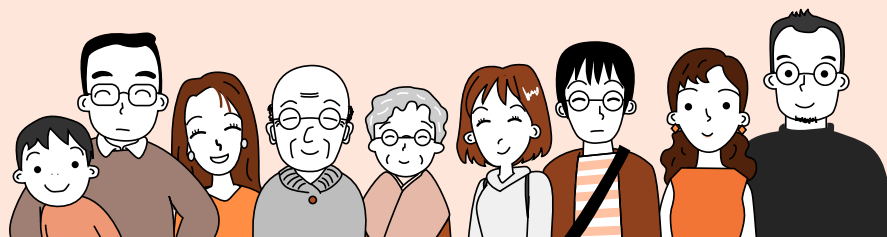
質問 平成26年6月に成立した「農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律」について、町はどう考え、原資をどう調達し、今後どう進めていくのか等、伺う。

答弁 産業観光課長 この法律の制定により、環境保全型農業直接支援も法律に基づく安定的な制度として盛り込まれたことは、今後の有機農業の推進を後押しするものと考えます。

この制度は、農地・水保全管理支払と一部

町民みなさんのひ3ば

わたしのひとこと



私のふるさと小川町

奈良梨 鈴木 智



私は、小川町が好きです。比企丘陵の緑、槻川の清流。小川和紙や小川絹、地酒造りなど地場産業は、自然と共存しながら発展してきたこと。かつては、物資の集散地として地域産業の中心地でもあった名残もあります。

仙覚律師の万葉集注釈の地。また富岡製糸場の創業に寄与した工女取締役・青木てるの功績が、県民だよりも紹介されていました。

町内には、さまざまな祭りや伝統民俗行事など多くの歴史・文化史跡があります。

私は、武蔵の小京都にふさわしい小川町の豊かな自然、歴史と文化を、次世代を担う子どもたちに「心のふるさと」として引き継ぐことが大切だと思います。そして、地元からはさらに、小川町の奥深い文化の魅力を情報発信することを期待します。

住みやすいまちづくり

みどりが丘 高橋 伸



小川町に住み始めて10年が過ぎますが、この地は自然が豊かで人情味もすぐあり、大変住みやすい町であると感じます。この環境を維持・向上させるために、議員の方々を中心にいろいろな仕組みや活動の改革をされ、苦勞されながら対応していただいているものと思われま

近年、河川や道路の整備が一層進み、また大企業の進出など、町として変化・向上しているのが目につくようになってきました。今後さらに「住みやすいまちづくり」を進めるためには、まだまだ積み残った問題がたくさんあり、それは決して簡単なことではないと感じます。

以前、議会報の中で、駅周辺の再開発の一般質問がありました。この案件も大変なことではあると思いますが、ぜひ進めてもらいたいものです。「住みやすいまちづくり」を考える上で、議会も淡々ではなく、泥臭くじっくりと話し合い、いざ決まったことを進める上では、私たち町民が少しでも一緒に手伝い、活動できるようであれば、今以上の住みやすい小川町ができると思います。



美しい景観が残る内洞沢

異なり、農業者のみの組織でも町との協定により交付金の一部を受けられます。そのため、まず既存の土地改良区の土地利用組合等を中心に、組織化を図りたいと考えています。

多面的機能支払の農地維持支払では、10アール当たり田で3000円、畑で20000円、町負担は7500円、5000円です。

町では、土地改良済区で実施しているブロックローテーションについては、実施地区に水田高度利用推進事

業補助金を交付しています。農地維持支払部分は、実施団体の意見を聞きながら、町負担の一部として補償金の一部を活用していきたいと考えています。資源向上支払交付金やその他の地区については、今後、財政当局と調整していきたいと思っています。

我が町再発見「子ども会農業体験」



昨年の芋掘り風景

秋が近くなると「おっきいよ!!」と、ラグビーボールをひとまわり大きくした芋を掘り出そうと興奮する子どもたちを思い出し、頬をほころばせてしまいます。芋は5キログラムほどありました。

平成17年度より始められた「子ども会農業体験」ですが、この活動は、町内の子ども会会員・保護者（育成会員）から希望を募り、下里地内にて地域の方のご協力のもと毎年続く行事の一つです。

苗植え・除草・収穫を見よう見まねで取り組む子ども姿に、「モノ」を育てる喜びを体感し「食」の大切さを学びとる様子が伺えます。

小川町子ども会連絡協議会 会長 あおう だきみよ 栗生田公代



議員 記者クラブ

シリーズ 安全・安心の主役たち⑫

みどりが丘夜間パトロール

みどりが丘自治会には安全対策部があります。主な活動内容は、毎週水曜日の夜20時からの夜間パトロール・月1回の昼間のパトロール・自治会祭り・運動会・環境整備での警備も担当しています。団地内に危険箇所がないか、空き家の見張りも行なっています。今回は、夜間パトロールに密着しました。



Q 毎週水曜日のパトロールですが、何人ぐらいで見回りをしていますか。

A 大体10人ぐらいで、毎回この地域を回るか決めて行ないます。

Q 女性の方も多くいらっしゃいますね。

A 毎年役員は変わります。男性は、ほとんどがOBですね。助かります。

Q 毎週で大変だと思いますが、モチベーションは何かですか。

A 団地ですので知らない人が多く、人とのつながりが希薄です。パトロールをすることにより知り合いが増え、いろいろな人と会話ができることが楽しいです。

Q パトロールをして一番うれしかったことは。

A 仕事帰りの方から先に「こんばんは。ご苦労様です」と、声をかけてもらったときですね。

担当：高橋さゆり

編集後記

ノーベル物理学賞を、3人の日本人が受賞しました。その道のりは険しく、不断の努力のたまものです。

私たちの故郷からも、「末は博士か大臣か」なんて人材を輩出したいですね。

そして、この広報が発行される時には、細川紙を含む手漉き和紙技術に、ユネスコから無形文化遺産の認定に向けワクワクしていることと思います。この機会をどのように活かすのか、楽しみです。

議会ホームページのチェックも忘れずに!!

編集委員 戸口 勝



QRコードを読み込むと、議会のホームページが表示されます。

議会だより おがわ No. 73

小川町議会だより 73号
平成26年11月1日発行

発行：埼玉県小川町議会 編集：議会広報発行特別委員会
〒355-0392 埼玉県比企郡小川町大字大塚55番地
TEL 0493-72-1221 FAX 0493-74-6877
<http://www.town.ogawa.saitama.jp/kurashi/gikaiinfo>

議会広報発行特別委員会

議長	小林 一雄
委員長	柳田多恵子
副委員長	大戸 久一
委員	戸口 勝
委員	高橋さゆり
委員	島崎 隆夫
委員	高瀬 勉

議会を傍聴してみませんか

議会では町民の皆様の生活に直結した重要な問題が審議されています。ぜひ傍聴にお越しください。

次回定例会は

12月2日(火) からです

この広報は古紙を配合した紙を使用しています。